

東京昭和国際学院

授業科目＋内容

到達目標	日常生活で友好的なコミュニケーションができ、進学先（大学・専門学校など）での様々な勉学に適応できる高い日本語能力を身に着けます。CEFR・B2レベル	
特色	非漢字圏の学生を中心とした教育のため、毎日のように漢字の学習があります。	
使用教材	できる日本語（初級～中級）本冊＋副教材、アカデミックジャパニーズ J-peak（中上級）、タスクベースで学ぶ日本語、Shadowing-日本語を話そう!、日本語能力試験対策、他	
授業科目	言語活動	内容
1. 総合日本語（聴解）	聞くこと	大学・専門学校等の講義が理解できることを目標に聴解練習を行います。 Show&Tell、ペアワーク、ロールプレイ、シャドーイング、インタビューなどを行い、それらの活動の中で聴解力を養います。
2. 総合日本語（読解）	読むこと	副教材を使っでの読解授業を中心に、日常の生教材も多く取り入れ、メール・手紙・物語なども読み込んでいきます。
3. 総合日本語（会話Ⅰ）	話すこと（やりとり）	ペアワーク、ロールプレイ、グループワーク、ディスカッションなどの活動を通して、コミュニケーション能力を高め、課外活動、文化活動などを交えて、実践力を養います。
4. 総合日本語（会話Ⅱ）	話すこと（発表）	Show&Tell、ペアワーク、グループワークなどを行い、自己評価とお互いの評価を交えながら、発表能力の向上を目指します。
5. 総合日本語（作文）	書くこと	グループワーク、ディスカッションなどを通して、自分の考えをまとめ、読者に合わせて適切な文体で、まとまった文章を書くことができるようになります。
6. 総合日本語（文字語彙・文法）	聞く・読む・話す・書く	副教材を中心に、正確な文法能力を養い、状況に合わせて適切な語彙、文法を使えるように応用能力を高めていきます。